

事業報告書

第1 平成28年度事業の概要

会社がこれまで行ってきた農地保有合理化事業は、農地中間管理事業が平成26年7月から実施されたことに伴い、新規の農地借入や、購入ができなくなり、以降それまでに購入した保有農地の売却及び貸付を行うことになった。

このことから、平成28年度は、県農林総合事務所、市町の農業担当課及び農業委員会との連携のもと、公社保有農地の売却及び貸付に努め、担い手農家への農地の利用集積等を推進した。

また、畜産振興事業では、辰口、富来の2放牧場における乳用牛等の受託放牧、富来放牧場における哺育育成を実施することにより、乳用牛等の優良後継牛の育成確保など畜産農家の経営の安定・合理化を支援した。

1 保有農地の売却及び貸付事業

(1) 農用地売却事業

農用地の売却については、一般農地では県内3町で2.5ha、能登開発地では珠洲市において2.6haを担い手農家に売り渡した。

河北潟干拓地では、2農家、2.4haについて10年以内の貸付後に売買を行う「農地売買予約契約」を締結した。

一般農地

所在地	件数	筆数	面積	金額	摘要
津幡町	1 <small>件</small>	2 <small>筆</small>	1.2 <small>ha</small>	10,023,539 <small>円</small>	畑
内灘町	1	2	1.0	6,927,548	畑
能登町	1	8	0.3	3,742,000	田
合計	3	12	2.5	20,693,087	

能登開発地

所在地	件数	筆数	面積	金額	摘要
珠洲市	2 <small>件</small>	21 <small>筆</small>	2.6 <small>ha</small>	1,301,647 <small>円</small>	畑、雑種地

(2) 農用地貸付事業

農用地の貸付については、一般農地 2.2ha、能登開発地 41.5ha、河北潟干拓農地 246.6ha をそれぞれ担い手農家に貸し付けた。

また、河北潟干拓農地において、1.8ha (169 区画) をふれあい農園として活用した。

区 分	件 数	筆 数	面 積	金 額	摘 要
一 般 農 地	2 ^件	4 ^筆	2.2 ^{ha}	181,872 ^円	
能 登 開 発 地	9	49	41.5	524,821	
河北潟干拓農地	—	—	—	19,088,276	
普通畑	38	344	199.9	16,109,517	
飼料畑	1	7	44.0	2,187,901	酪農団地飼料畑
施設用地	2	7	2.7	258,858	酪農団地施設用地
計	41	358	246.6	18,556,276	
ふれあい農園	152	—	1.8	532,000	標準区画約 64 m ²
合 計	—	—	292.1	19,794,969	

2 畜産振興事業

(1) 受託放牧事業 (85,907,920 円)

畜産農家の経営の安定・合理化を支援するため、855 頭の育成を実施したほか、291 頭の哺育を行った。

区 分		事 業 量		事 業 費
		受託頭数 (頭)	年間延頭数 (頭)	円
育 成		855	170,338	72,565,920
辰口放牧場	継続	197	69,122	
	新規	185		
富来放牧場	継続	279	101,216	
	新規	194		
哺 育		291	34,852	13,342,000
富来放牧場	継続	112	34,852	
	新規	179		
合 計		1,146	205,190	85,907,920

(2) 放牧場機械整備事業 (7,203,600 円)

受託放牧事業の円滑な実施のために必要な機械を更新・購入した。

区 分	整備機械		事 業 費
			円
富来放牧場	ホイルローダー	1 台	7,203,600

(3) 内浦駐在所管理運営事業 (35,075,000 円)

内浦駐在所において、県からの委託を受け、能登畜産センターの家畜飼養管理及び草地管理業務を実施した。

(4) 畜産経営環境整備事業 (51,000,000 円)

河北潟の環境汚染防止のため建設された家畜排せつ物処理施設（河北潟ゆうきの里）の円滑な運営を図るため、農事組合法人河北潟酪農組合に運営資金を貸し付けた。